

平成28年度

中小企業振興施策実施状況

商業課

所属	経済部 商業課	No.	
----	---------	-----	--

事業名	商業振興コーディネーター事業	平成28年度 目標達成度
事業概要	特色ある商業集積地づくりのため、商業振興に意欲的な商業集積地を選定し、商業振興に関する事業提案を支援するとともに、取り組み成果を普及させる。	A

H28 決算	4,500千円	H29 予算	2,900千円
-----------	---------	-----------	---------

報告・報告 掲載	Ⅱ①	Ⅱ②	V①	V②
	V③			

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	1

指標①	コーディネーターを希望する商店街からの応募件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	2団体	2団体	2団体	A	目標②				
実績①	1団体	2団体	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<p>モデル地区コーディネーターについては、平成27年度に引き続き、若江岩田商業集積地(岩田本通商店街および若江岩田きらりプロジェクト)を採択し、商店街の垣根を超えた若手店主の新たな活動を支援し、商業集積地としての活性化を図った。</p> <p>個店支援コーディネーターについては、2019年に花園ラグビー場が会場となるラグビーワールドカップ2019TMを契機とした経済活性化を見越して、ラグビーに因んだ食品の製造小売を行う商店を集め、情報発信や効果検証等を行いながら、東大阪市の新たな名物となる商品の発掘および個店の活性化に資する調査を行った。</p>								
改善すべき点	グループ等で活動をするにあたり、ノウハウの蓄積等を見据え、イベント運営や事務に係る部分をマニュアル化した。これを活用することも含め、コアメンバーへの負担の偏りを縮減し、自立した組織運営を支援していく。								
平成29年度に 向けた改善策	これまでの成功事例や成果情報を共有するなどにより若手事業者や意欲のある店主グループが連携し、具体的な事業実施につなげることができるようサポートを行い、地域商店街の自立的な活動につなげたい。								

所属	経済部 商業課	No.	
----	---------	-----	--

事業名	地域密着型支援事業	平成28年度 目標達成度
事業概要	商店街や小売市場等の小売商業団体が実施する魅力あふれる商店街づくりや、大学・地域などと連携して行う事業など、地域密着型の取り組みに対し補助金を交付することで、商業の活性化を図る。	C

H28 決算	14,523千円	H29 予算	17,530千円
-----------	----------	-----------	----------

報告・報告 掲載	Ⅱ①		

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	1

指標①	にぎわいづくり事業実施団体数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	25団体	25団体	25団体	C	目標②				
実績①	20団体	19団体	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<p>市内商店街、小売市場などの団体が盆踊りや夜市などのイベントを行う場合、にぎわいづくり事業補助金を交付する。</p> <p>・東大阪布施商店街振興組合など19団体へ交付</p>								
改善すべき点	実施団体の数を増やすとともに、事業実施にあたっては来店者の増につながるような工夫について検討してもらえるよう周知したい。								
平成29年度に 向けた改善策	商店街事業の魅力を発信し、来客を呼び込むツールとして広く周知し、商店街への一層の支援を図りたい。								

所属	経済部 商業課	No.	
----	---------	-----	--

事業名	観光振興事業	平成28年度 目標達成度
事業概要	観光客の誘致、本市のイメージアップなどを図るため、東大阪観光協会などの関係団体と連携し、本市の新たな観光資源の発掘やPRに取り組む。また、東大阪物産観光まちづくりセンターなどと協力して積極的に市の魅力情報を発信する。	A

H28 決算	11,972千円	H29 予算	9,890千円
-----------	----------	-----------	---------

調査・報告 施策	V①		
-------------	----	--	--

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	8	5

指標①	観光振興補助金への応募件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	2件	2件	2件	A	目標②				
実績①	2件	2件	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	市内飲食店を中心とした観光関連団体が実施する「バル」イベント(布施えびすバル、小阪・八戸ノ里なのはなバル)に対し、観光振興補助金交付により支援した。								
改善すべき点	特になし。								
平成29年度に 向けた改善策	DMOの設立に伴い、観光振興事業補助金を終了し、平成29年度においては地域密着型支援事業という大きい仕組みのなかでの支援を実施していく。								

所属	経済部 商業課	No.	
----	---------	-----	--

事業名	元気グループ推進支援事業	平成28年度 目標達成度
事業概要	商店街組織を構成する事業者が、他地域の事業者やモノづくり企業、農業者などと連携して、地域商業を活性化させる取り組みに対し、コーディネーター派遣により地域商業の経済的機能強化を図る。	A

H28 決算	980千円	H29 予算	-
-----------	-------	-----------	---

調査・報告 施策	V①	V②	
-------------	----	----	--

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	2

指標①	コーディネート希望する意欲的な事業者グループからの応募件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	1件	1件	1件	A	目標②				
実績①	1件	1件	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	平成27年度引き続き、布施駅北側三番街・四番街商店街の若手店主を中心とした、布施三・四会を支援した。平成28年度は、平成27年度の座学研修や合意形成を踏まえて、商店街の恒常的な顧客づくりの第一歩として、子育て世代層を対象とした商店街スタンプラリー「ブランドーリ似顔絵クエスト」を実施した。								
改善すべき点	特になし。								
平成29年度に 向けた改善策	本事業で得た成果物なども活用し、今後の自立的な活動をすすめていただけるよう支援していく。(元気グループコーディネート事業は平成29年度より商業振興コーディネート事業へ統合)								

所属	経済部 商業課	No.	
----	---------	-----	--

事業名	個店経営者育成セミナー事業	平成28年度 目標達成度
事業概要	<p>事業者や創業予定者を対象に「東大阪あきんど塾」を開講する。商店経営のあり方や個店の魅力向上をテーマにしたセミナーを実施するとともに、専門家(アドバイザー)を店舗に派遣し、売上向上の為のアドバイスを行う。</p>	B

H28 決算	936千円	H29 予算	1,028千円
-----------	-------	-----------	---------

国費・報告 地区	V②	V③		
-------------	----	----	--	--

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらし
4	22	2

指標①	あきんど塾受講者満足度				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	90%	90%	90%	B	目標②				
実績①	73%	80%	-		実績②				

事業実績
(平成28年度)

平成27年度に引き続き中小企業診断士を講師に招いて全10回の講義を実施した。商店経営の概略やマーケティング、マーチャダイジング、経営分析等の研修実施により、経営者のスキルアップを図った。カリキュラム内容と参加人数は次の通り。
 ①商店経営概論(7名)②自社のコンセプトと顧客選定について(4名)③自社・自店の強みの再確認(8名)④競合分析(6名)⑤セールストーク強化(6名)⑥商品展開(8名)⑦販売促進(6名)⑧顧客をリピートさせるしくみ化(7名)⑨経営者がお金を残すための経営管理(7名)⑩事業計画発表(7名) 合計10回の講義に加え、随店指導(アドバイザー派遣)を実施し座学と現場の両面から個店支援を図った。

改善すべき点

これまで論理中心の講義内容であったので、店舗経営の実践に活用できる内容も盛り込めたが、受講生が定員に満たなかったことから、より効果的な広報手段を検討し、受講生の確保に努める。

平成29年度に向けた改善策

平成28年度受講生アンケートを踏まえ、受けて良かった講義として挙がっているものをカリキュラムに盛り込むとともに、店舗経営で役立つ実践編のテーマも加える。
 経営改善や創業に意欲的な受講生確保のため、より効果的な広報手段を検討する。

所属	経済部 商業課	No.	
----	---------	-----	--

事業名	空き店舗活用促進事業	平成28年度 目標達成度
事業概要	<p>商店街が空き店舗などを活用して来客の増加やまちの活力・にぎわい回復事業を行う際、補助金の交付やアドバイザーの派遣を行う。</p>	A

H28 決算	3,921千円	H29 予算	8,401千円
-----------	---------	-----------	---------

国費・報告 地区	V③		
-------------	----	--	--

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらし
4	22	1

指標①	空き店舗活用促進事業の実施件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	3件	4件	4件	A	目標②				
実績①	3件	5件	-		実績②				

事業実績
(平成28年度)

空き店舗活用促進事業として商店街へ補助金を交付するとともに新規店舗についてはアドバイザー派遣も実施した。
 ・商店街の魅力高める店舗：布施駅北部四番街商店街振興組合(継続・飲食店)
 ・商店街の魅力高める店舗：八戸ノ里商店会(継続・物販)
 ・商店街の魅力高める店舗：布施駅北部四番街商店街振興組合(新規・飲食店)
 ・商店街の魅力高める店舗：布施駅北部四番街商店街振興組合(新規・サービス業)
 ・商店街の魅力高める店舗：稲草山中央商店街振興組合(新規・物販)

改善すべき点

補助金を活用する団体が偏重している。また、アドバイザー派遣による店舗運営のアドバイスを店主が実践できているかどうか見守るなど、継続した店舗運営に向けた支援が必要である。

平成29年度に向けた改善策

従来の改装費補助、賃借料補助に加え、開業店舗の事業者への認知度向上や誘客促進による安定的な経営のための布石として、開業店舗の積極的PRのための広告経費を補助対象とする。